

# 伊豆大島土砂災害対策について



平成26年7月3日  
東京都建設局

## 土砂災害の発生状況

平成25年10月台風26号による降雨状況

○時間最大雨量**122.5mm**

○24時間雨量**824.0mm**

(ともに大島観測史上1位)

- ①強い雨が短時間に集中し、大金沢上流の急斜面が大規模に崩壊
- ②土砂や流木が、低い尾根を越え、市街地に大きな被害

広い範囲で斜面崩壊と侵食が発生

大金沢



土砂・流木が低い尾根を越えて流下

### 今回発生した土砂災害の実態を踏まえた計画を策定

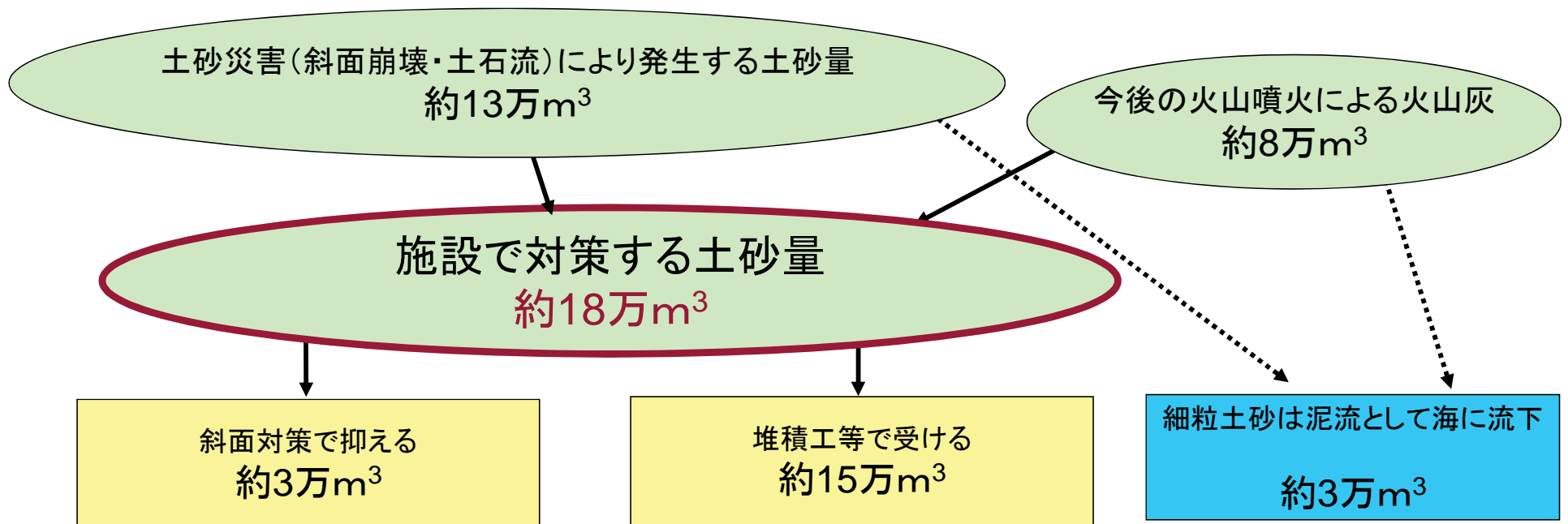
- ハード対策では、元町地区に大きな被害をもたらした**大金沢の対策を優先**する
  - ハード対策の実施時期を**応急対策**、**短期対策**、**中長期対策**の3つに区分し、対策を段階的に実施
    - ・**応急対策** ⇒ 今年の雨期までに斜面に残る不安定な土砂に対する安全性を緊急に確保
    - ・**短期対策** ⇒ 3ヶ年で、急斜面に残る土砂の崩壊や、緩斜面での新たな侵食に対する安全性を確保。既存施設がなく、流出土砂による被害が想定される左支川の施設整備を優先する
    - ・**中長期対策** ⇒ 10年程度で、今後新たに堆積する土砂や、噴火による火山灰の流出をも考慮した安全性を確保
  - 流木については、本川堆積工より下流に流さないことを原則とする
  - ソフト対策を早期に実施する
- ※大島全体での対策については、今回の結果を踏まえて引き続き検討する。また、国が学識経験者による委員会で検討している基準類の見直しなどを反映させる。

目標整備水準・・

**計画土砂量約18万 $m^3$**

(既往計画土砂量約13万 $m^3$ )

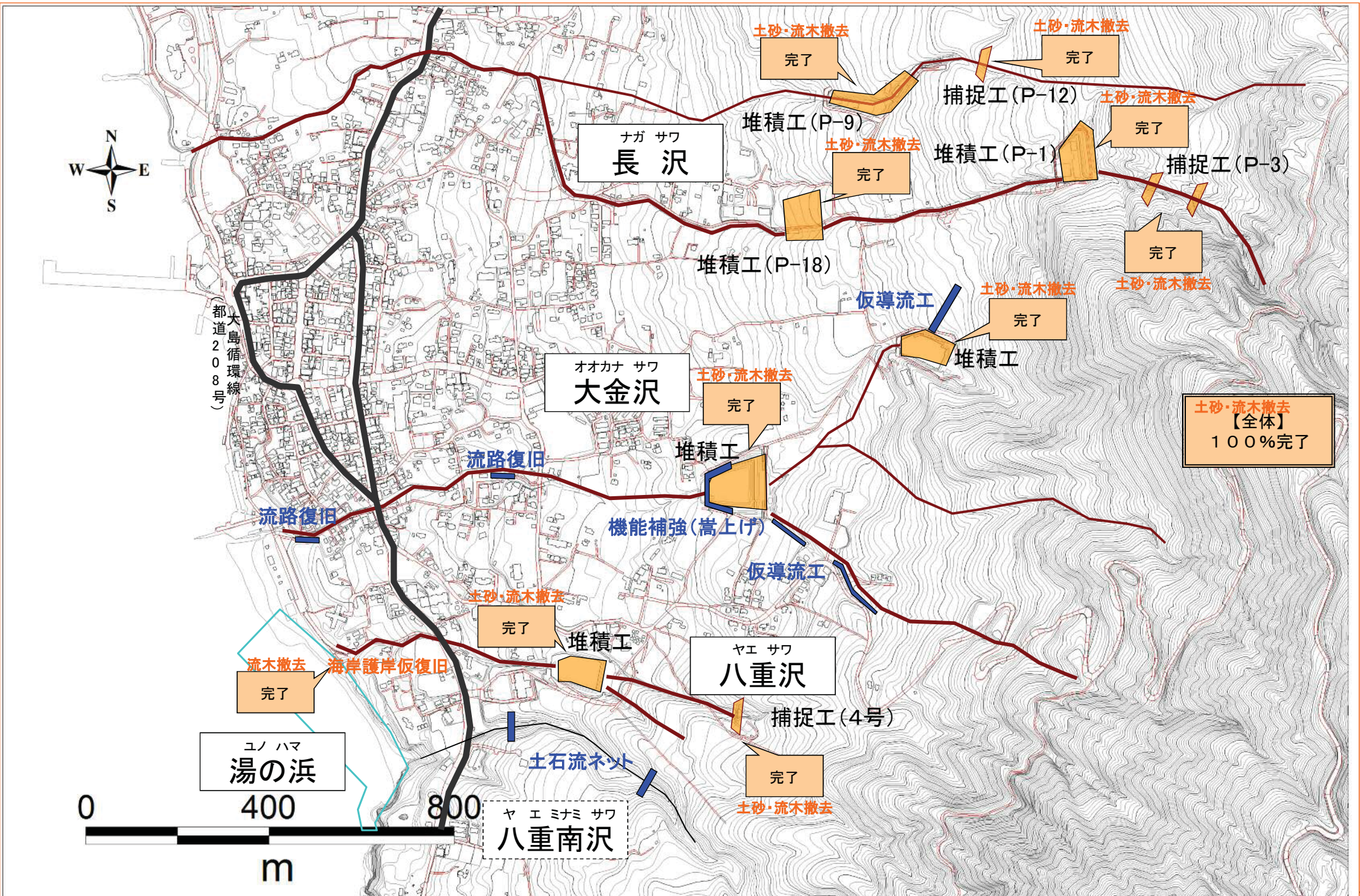
### 大金沢における土砂収支計画の概念図



# 大金沢土砂災害対策【応急対策】



堰堤の徐石状況(H26年3月に完了)



長沢P-3堰堤



八重沢堆積工



大金沢本川堆積工



流路工復旧工事(丸塚橋下流)



仮設導流堤工事(左支川下流)

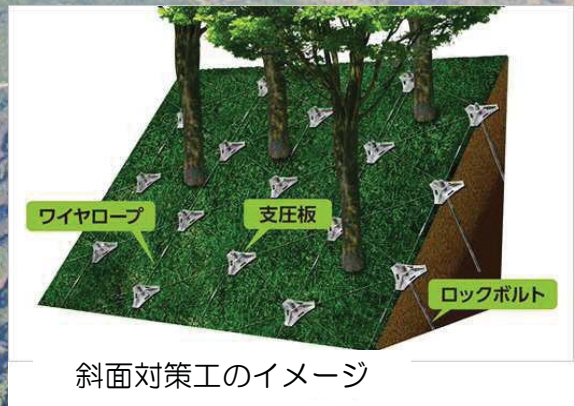


リングネット設置工事(八重南沢)



凡 例

- 斜面对策工
- 導流堤
- 流路改修の検討



### 対策スケジュール

事業	H25	H26	H27	H28	H29~
応急対策	⇔				
短期対策		⇔			
中長期対策			⇔		



凡 例

- 斜面对策工
- 導流堤
- 砂防えん堤

大金沢  
(本川)  
(右支川) (左支川)

支川堆積工

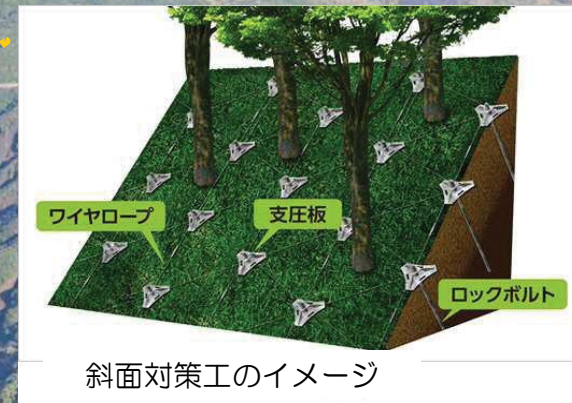
本川堆積工

神達地区

元町

対策スケジュール

事業	H25	H26	H27	H28	H29~
応急対策	←→				
短期対策		←→			
中長期対策			←→		



斜面对策工のイメージ



砂防えん堤（大島・岡田沢の例）



導流堤（三宅島・大久保沢の例）